

XTRACYCLE[®] KICKBACK™

キックバック取り付け、取り扱い説明
SKU: 2KB1000



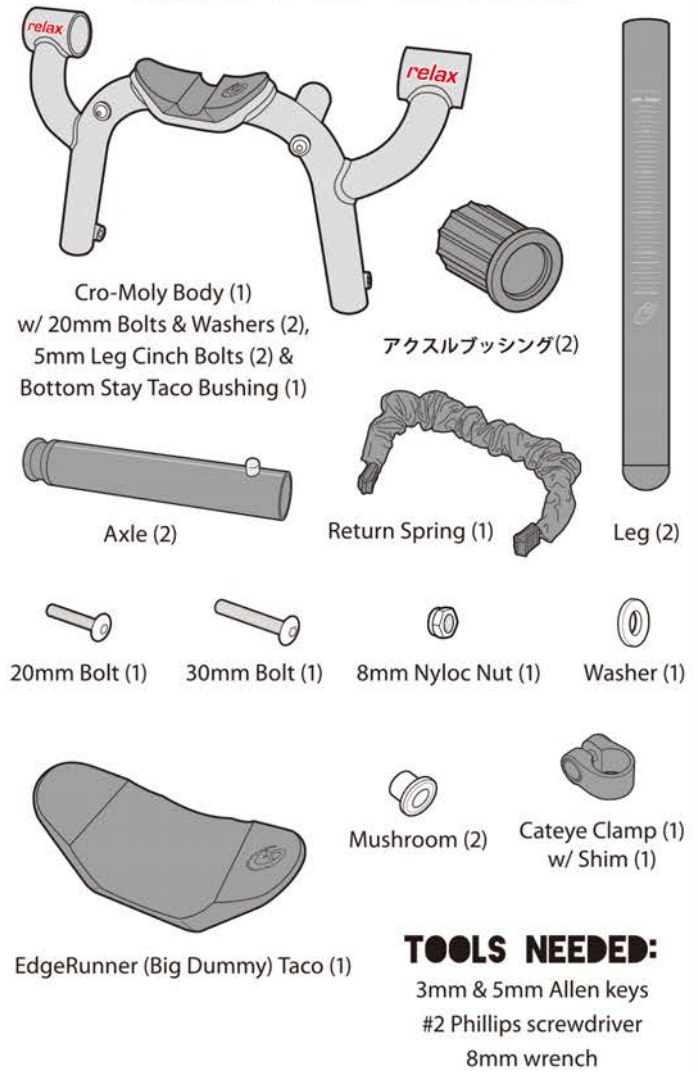
**GO AHEAD,
GIVE THANKS**

愛されるエクストラサイクルに寄り添って、私たちは走行距離と笑顔、我々の速度を落とし鍛えてくれるバカでかい荷物、シンプルに楽しくやればいと鼓舞してくれた友人や変人を祝福してきました。そして今、お客様（と自転車）の待ち望んでいた：ロングテールに完全対応した、調整可能で、組み立て式の、さらにはクールな見た目の素晴らしいセンタースタンドを贈ります。このスタンドは決して傾くことなく、荷物や子供の載せ降ろしにもずば抜けたサポート性を発揮します。特別設計されたアルミニウム性の両足は切り刻んだり、改造したり（<http://goo.gl/zNT4D>参照）、エッジランナーに合うよう切り詰めることができます。キックバックを取り付けて、リラックスして、夢を描いてください。

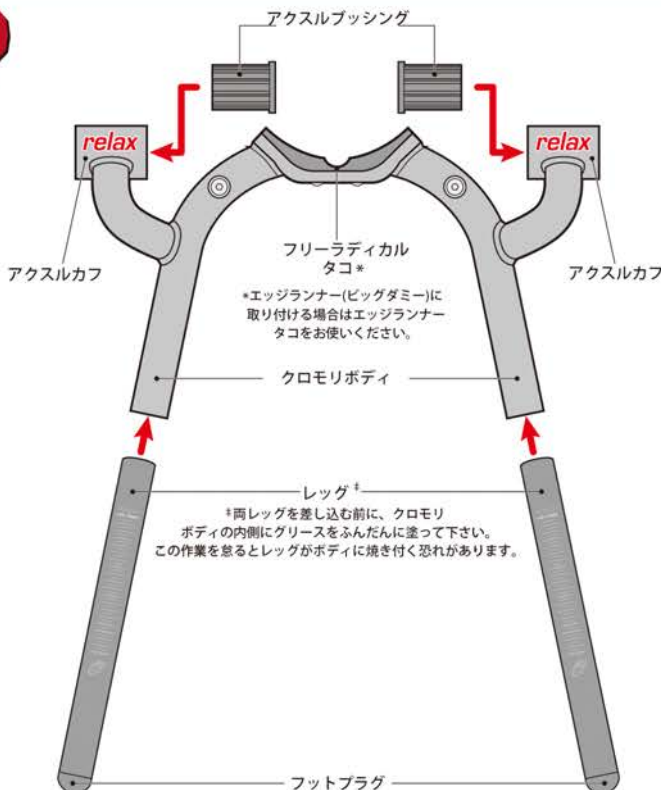


*自転車にLTスタンダードのロゴマークが付いていればこれから取り付けようとしているキックバックのようなエクストラサイクルの各種アクセサリー群が使えます。

WHAT'S IN THE BOX



1



KICKBACK ASSEMBLY (キックバックの取り付け)

エクストラサイクルもしくはロングテールバイクにスタンドを取り付ける前に、キックバックに簡単な取り付け作業を行います。

2本の足を完全にクロモリボディに挿入し、5mmのアーレンキーを使ってしっかりと締め込みます。超人級の力は必要ありませんが、足のパーツが回ったり落ちたりすることのないようにして下さい。足の長さ調節はキックバックを取り付けた後に行います。

アクスルブッシングはブッシングの片側がフランジ状に広がったものです。このフランジとブッシングのスプラインは乗車中にブッシングがアクスルカフから滑らない役目をしてしています。ブッシングはキックバックのボディに入れた状態で以下の作業に取りかかってください。



フリーラッド、ラディッシュ、カーゴジョーのオーナーは次を飛ばして3ページエッジランナー、ビッグダミーのオーナーは続けて2ページへ

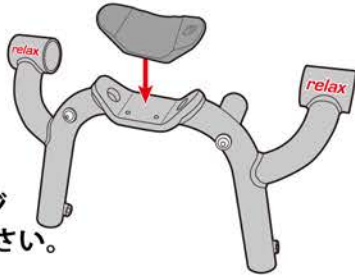
WAIT! このページはエッジランナーとビッグダミー向けの説明書です

SKIP ME!

キックバックをフリーラディカル、ラディッシュ、カーゴジョーに取り付ける方はこのページのA~Dを飛ばしてください。

A エッジランナータコの取り付け

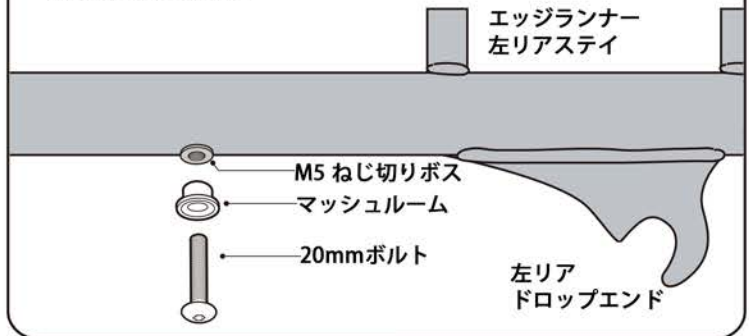
購入時のキックバックはフリーラディカル仕様になっています。エッジランナー（ビッグダミー）に組み込む場合、このページのA~Dの手順を踏んでください。



フリーラディカルタコをキックバックに固定している小さい2つのねじを緩めます。そして接着剤付きのフリーラディカルタコをキックバックのボディからはぎ取ります。両面テープを使ってエッジランナータコを貼付け、取り除いたねじで再度固定します。

B エッジランナーリターンズプリング用リアマウントの取り付け

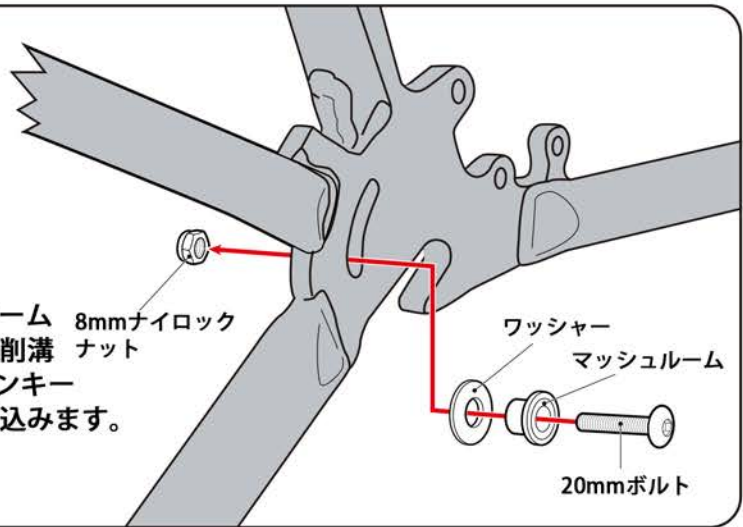
エッジランナーにキックバックを取り付けるには左側（ドライブサイドでない方）のドロップアウト近くにある専用の取り付け穴にマッシュルームを取り付ける必要があります。



C ビッグダミーリターンズプリング用リアマウントの取り付け

サーリーのビッグダミー（2012年以降）にはリターンズプリング取り付け用のペグを完璧に配置出来る機械切削された溝がリアのドロップアウトに開けられています。この溝に3mmのアーレンキーと8mmのボックスレンチを使ってマウントを取り付けます。

まず後輪を外します。図のように20mmボルトをマッシュルームに通し、次にワッシャーをくぐらせます。これを弧を描く切削溝の底部に通します。8mmのボックスレンチと3mmのアーレンキーを使ってナイロックのナットがぴったりとかみ合うまで締め込みます。この作業は後輪を外して行う方が簡単です。ボルトは締め込みすぎないように注意してください。

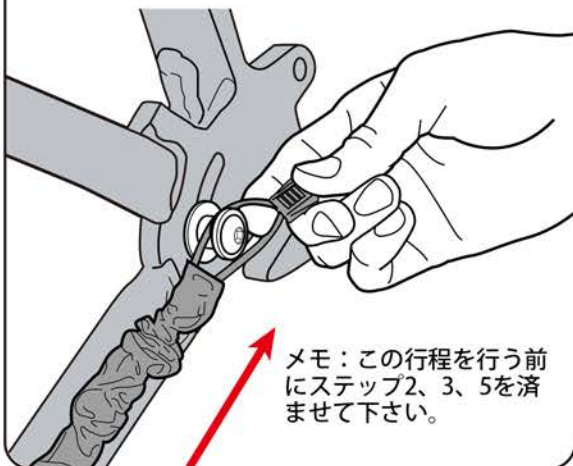


NEXT STEPS

2, 3, 5

D ビッグダミーリターンの取り付け

リターンズプリングの反対側でも再度スリーブを滑らせてスタティックコードを露出させます。人差し指を輪っかに引っ掛け、ご自身がステップCで装着されたキャットアイクランプ部分までゆっくりと後方に引きます。そして輪っか部分をマッシュルームに引っ掛けて下さい。



TECH NOTE

キックバックの足の切り詰め

キックバックの足パーツは短くすることが出来ます。実行するにはまずキックバックを立てた状態にして、地面から浮き上がったタイヤまでの距離を測ります。理想的な間隔はおおよそ3cmですから、実際のタイヤまでの距離から3cm引いた長さだけ両方の足パーツ切り詰めます。切断は足パーツを回しながら外し、先端のプラグを取り除きます。切る長さを再確認してから実行してください。切断面をヤスリで整えプラグを入れ直して下さい。両足をボディに差し込んで終了です。お客様による作業で失敗や問題が発生しても、保証は適用されませんことを了承ください。

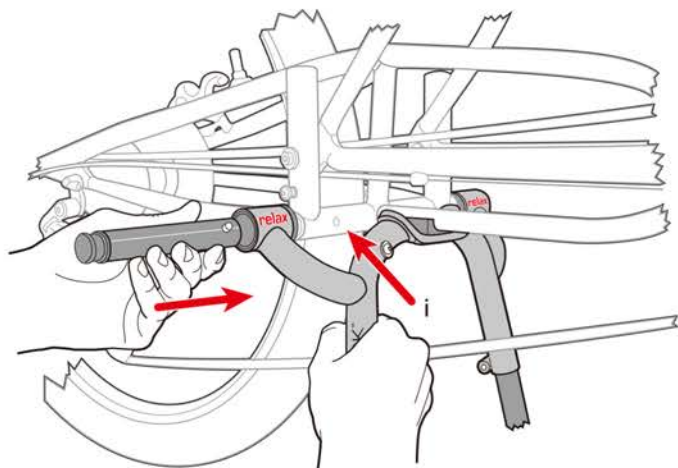
保証情報

キックバックのパーツとコンポーネントは製造上の不具合並びに通常環境下での通常使用による損傷に対して、購入された日から1年間の制限保証が適用されます。この保証は譲渡出来ません。

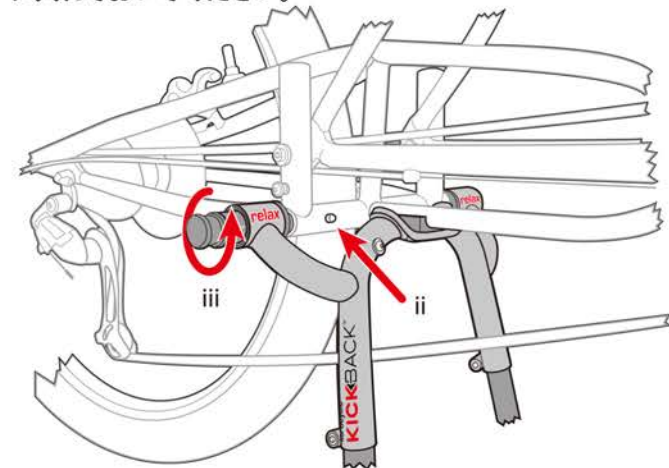
キックバックは正しくお使いいただく限りフレームを痛めることはありません。またこの正しい使い方にキックバックを立てた状態で自転車に乗る行為は含まれていません。キックバック自体はこの加重に十分耐えられますが、こうした状態で乗ることでフリーラディカルやエッジランナー、ビッグダミーのフレームにダメージや不具合が起こらないことは保証出来かねます。ですのでこのような使い方は自己責任で行ってもらい、キックバックやフリーラディカルは保証の適用外となることを明示しておきます。

最大搭載重量に関してはエクストラサイクル本体のマニュアルを参照ください。

2 キックバックの取り付け (エクストラサイクル、フリーラッド、カーゴジョー、ラディッシュ、エッジランナー、ビッグダミー共通)



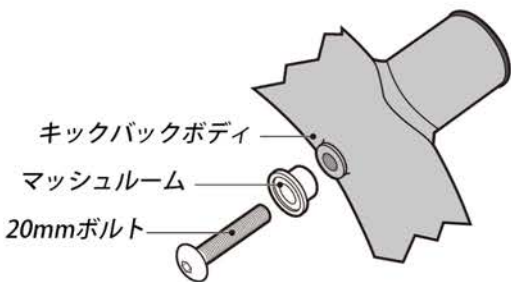
ワイドローダー、Uチューブ、ランニングボードを装着の際は、フロントのブリッジホールからスプリングボタンが飛び出ることを確認して下さい。www.xtracycle.com/kickbackの動画が役に立つかと思ます。



フリーラディカルで使用する場合、フロントブリッジの手前でボタンを再度押して挿入してもらう必要があります。ブリッジの穴からボタンが出るようアクスルを回しながら入れて行ってください。取り除く必要性が出てきた場合、反時計回りに回しながら抜いてバッグのジッパーポケットに入れておいてください。

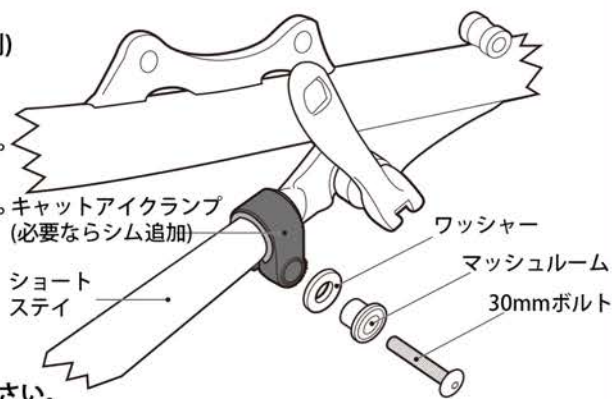
3 リターンズpring用マッシュルームの取り付け

キックバック本体左側にはめ込んであるボルトとワッシャーを外してください。ボルトにマッシュルームのフランジが外を向くよう差し込み、本体にサイド差し込んでください。



4 フリーラディカルリターンズpring用リアマウントの取り付け

フリーラディカルの左側(ドライブサイドでない側)ショートステイに図のようにキャットアイランプを取り付けてください。取り付け位置はショートステイのかなり後方です。キャットアイランプスプリングのテンション(必要ならシム追加)が強くなるので、ディスク使用時スプリングのスリーブが削られるのを防ぐため、ボルトが外側を向くよう取り付けてください。



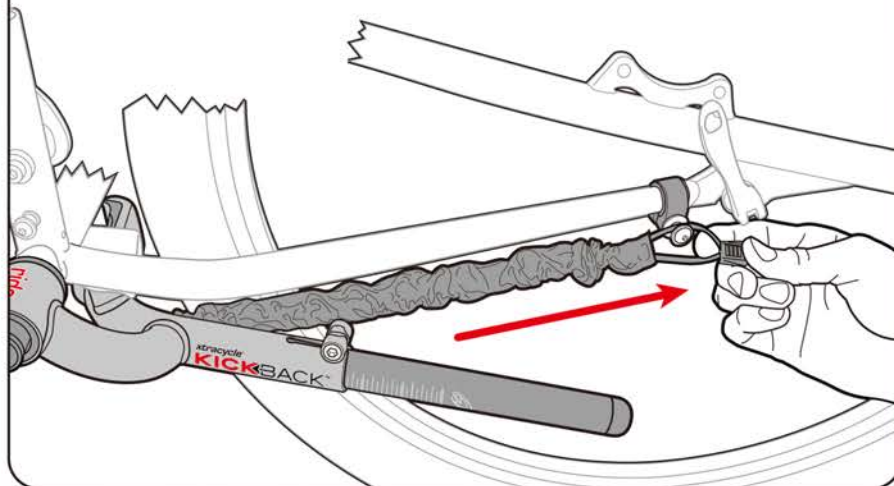
5 キックバック本体へのリターンズpringの取り付け

リターンズpringに内包される輪っか状になったコードを引き出すため黒いナイロンのスリーブを滑らせてください。ステップ3で取り付けしたマッシュルームに輪っかを引っ掛けてください。輪っかの部分が完全にマッシュルームのフランジ裏に位置するのを確認してスリーブを元通り引き上げてください。



6 フリーラディカルリターンズpring後ろ側の取り付け

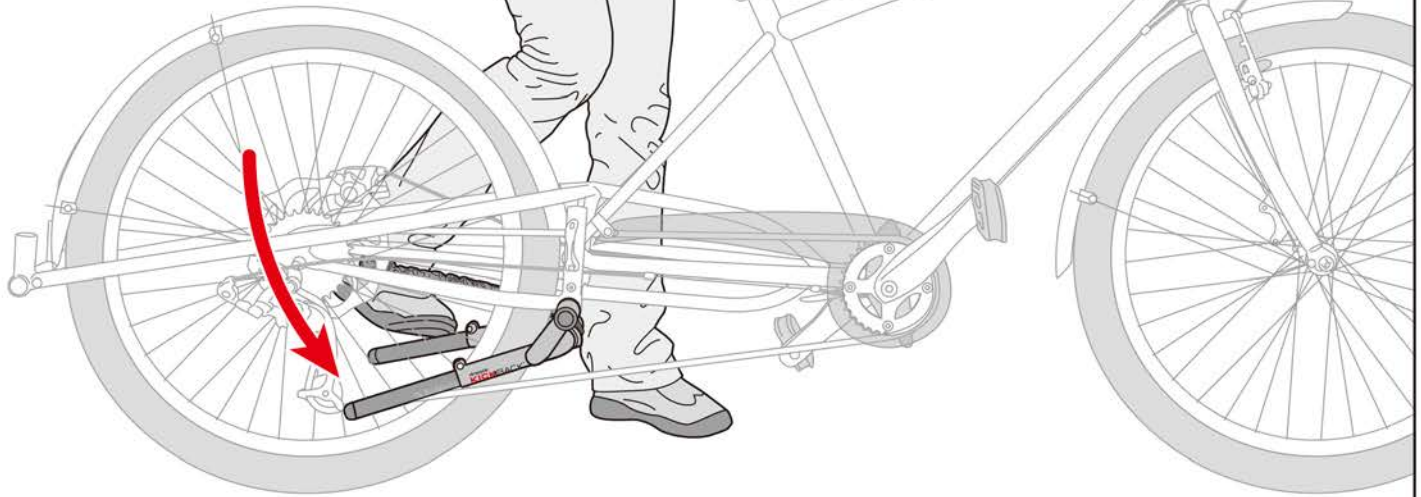
反対側もスリーブをずらして輪っか状のコードを引き出します。人差し指を輪っかにひっかけ、ゆっくり後方に引きながらステップ4で取り付けしたキャットアイのマッシュルーム部分に引っ掛けます。



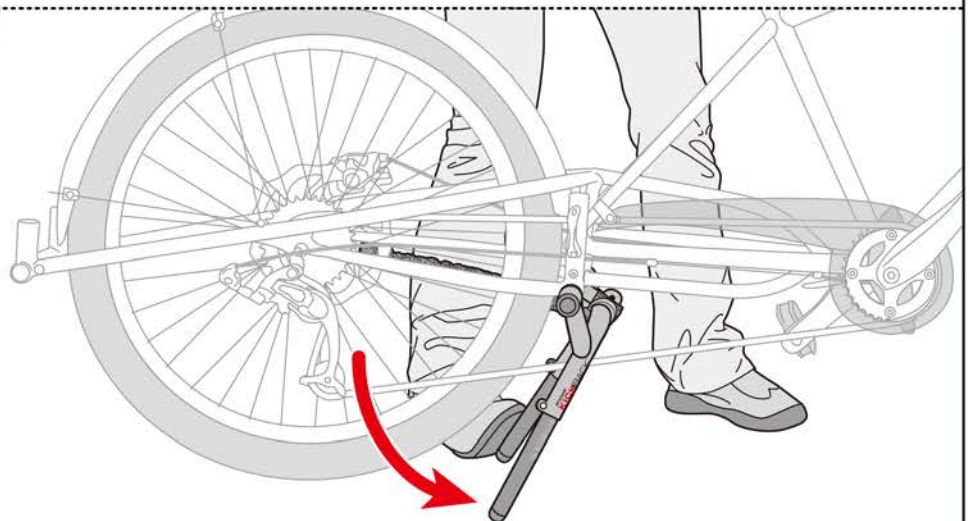
TECH NOTE スプリングにテンションが欲しい場合、マッシュルームに引っ掛ける輪っかの部分を残しつつコードを調整してください。

キックバックの方法

A キックバックを立てるには左手でハンドル、右手でサドルを持ちながらドライブサイドの反対側に立ちます。そして右足をフリーラディカルとキックバックボディの間に入れます。

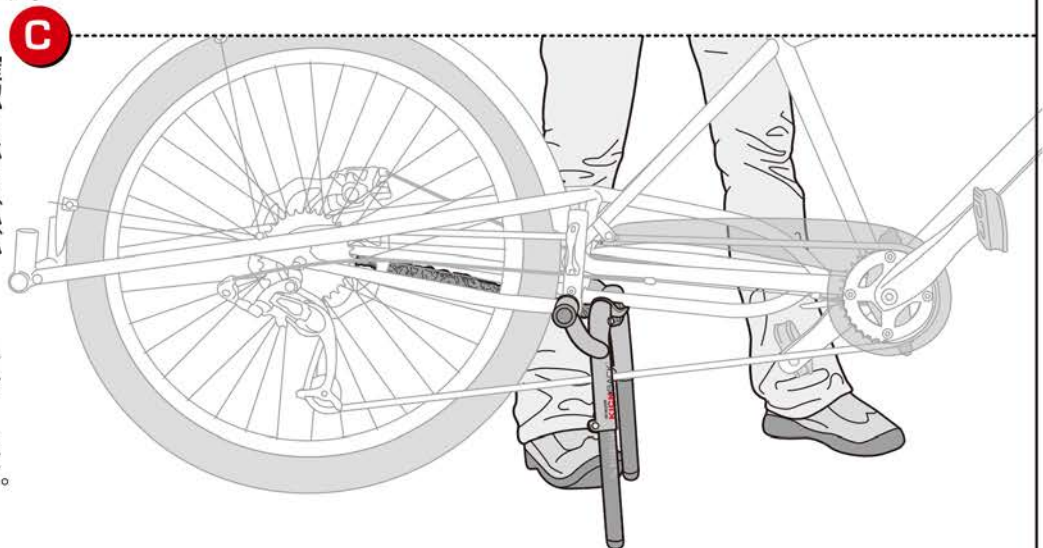


B 右足でキックバックを押しながらか速やかにハンドルとサドルを引いてください。足が地面に付いたら、キックバックの足が滑らないようストッパーにしてください。



C きちんと立ったら、キックバックがちゃんとした位置にはまるのが感じられるはずです。キックバックが完全に立ったのを確認したら、手を離して構いません。自転車を少しくらい揺すっても、スタンドが動かないことが確認していただければと思います。

D スタンドを倒すには、荷物が確実に固定されていることを確認してハンドルバーを握りながら速やかに自転車を前へ押しながら歩いてください。これでもう自転車に乗れます！ハンドルバーを上にも持ち上げてもキックバックは倒れるはずですよ。



役立つヒント：貴重で扱いにくい、重いものを運ぶ際は、キックバックを倒す前にロックへ固定したくなるはずですよ。そうすることにより、あなたにはより良い操舵性と安定性が与えられるはずですよ。キックバックを楽しんでください！